

しっくい goodness と魅力をPRし、左官工事につなげる施工フォトコンテストを開催

—第1回しっくいフォトコンテスト2022—

(一社)日本左官業組合連合会(石川隆司会長)はこのほど、「第1回しっくいフォトコンテスト2022」を開催し、大賞および入賞作品を発表した。

同賞は、同会が2017年より進めている「しっくい普及推進プロジェクト」の一環として開催されたもので、しっくいと左官工事の良さをPRし、しっくい施工の需要を呼び起こそうとするもの。審査会の開会挨拶に立った日左連左官工事PR構造改善委員会の寄上修二郎委員長は「単にフォトコンテストで作品を選ぶということだけでなく、ここで選ばれた素晴らしい作品をどのようにPRしていくのかということを考えていかなければいけない」と語った。審査は、しっくい仕上げ普及推進WG座長の中屋敷剛氏の司会進行で行われた。

入賞作品は、日左連会長をはじめ計7名の審査員により、各5部門(A部門(町家)、B部門(野丁場)、C部門(店舗)、D部門(伝統工法)、E部門(リフォーム))の金賞(各部門より1作品)、銀賞(各部門より2作品)、銅賞(各部門より3作品)が選ばれ、各部門の金賞の中から大賞を決定。また、特別賞として現代しっくい賞3作品も決定する。今回のフォトコンテストには全国会員から102件の応募があり、大賞には(株)小倉左官店(岐阜県左官業組合連合会)の「田尻歴史館」(伝統工法部門)が選ばれた。

審査終了後、審査委員長の石川会長は「昨今、世の中はITやAIなどのデジタル化が進み、一方で熟練工など必要ないという風潮になりつつある。確かに現場の効率性を求めていく中でデジタル化は必要だろう。ただ、現場を収めているのは間違いなく、この素晴らしい作品に見られる職人の技能である。このコンテストを表面的に捉えるのではなく、掘り下げてしっくいの魅力を発信し、更に応募数が増えていくようなコンテストへと成長させていきたい」と今後の展望を語った。

なお、今回のフォトコンテストの審査員ならびに受賞作品は以下の通り(敬称略)。

審査委員

石川 隆司	日左連会長・審査委員長
寄上修二郎	日左連左官工事PR・構造改善委員会委員長
菅野 善仁	日左連広報委員会委員長
河合 滋	日左連青年部本部長
行平 信義	日本漆喰協会会長
久保 賢次	建材フォーラム(株)工文社 編集長
多田 君江	CONFORT(建築資料研究社) エディトリアル・ディレクター



▲挨拶する石川会長



▲挨拶する寄上委員長



▲審査の様子